

会 告

平成 20 年度通常総会およびシンポジウムについて

平成 20 年度通常総会およびシンポジウムを下記の要領で開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

日 時：平成 20 年 5 月 30 日（金）

11：00～12：00 通常総会

13：00～14：10 特別講演

14：10～17：40 シンポジウム

（資料代 5,000 円）

シンポジウム後に意見交換会を開催いたします（会費 4,000 円を予定）

会 場：日本大学文理学部百周年記念館国際会議場
東京都世田谷区桜上水 3-25-40

アクセス：京王線 下高井戸駅または桜上水駅 下車
徒歩 10 分

会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください



C P D H：4.5 時間

〔通常総会〕総会の構成員は役員および代議員ですが、当学会員であれば誰でも総会を傍聴することができます。

〔特別講演〕自然界におけるヒ素の存在状態と挙動 - 土壌・地質・地下水汚染への対応 - （仮題）

九州大学名誉教授 島田 允彥

〔シンポジウム〕

テ - マ：自然由来の環境問題

主 旨：土壌汚染対策法施行後、土壌や地下水の人為的な汚染に関する調査、対策が数多く実施されている。一方、重金属等の含有率が高い岩石が酸化環境下に暴露されることにより、人体や環境に有害な元素が地下水や土壌に流出するケースが顕在化している。これら自然の岩石や土壌は土壌汚染対策法の対象ではないが、建設現場で発生した残土等については、その残土が環境を汚染する可能性がある場合、人為的汚染土壌に準じて処分することが求められている。このための調査や対策のコストは上昇する一方であり、自然由来の汚染物質に対する適切な評価・対策法の確立が求められている。当学会ではこれまでこの問題に関する論文や学会発表を多数採用し、この問題の重要性について議論を重ねてきた。このような背景から、本シンポジウムでは「自然由来の環境問題」と題して、この分野の専門家に最新の学術的、技術的課題をご提供いただくことを目的とする。

プログラム：（講演題名および講演順は変更になる場合があります）

14：10～14：50 自然由来の重金属類の多様性に対応策

産業技術総合研究所 丸茂 克美

14：50～15：30 道内における自然由来重金属汚染問題の現状とその解決へ向けて

北海道大学 五十嵐敏文

15：30～15：40 休憩

15：40～16：20 建設工事における自然由来の重金属汚染への対応

土木研究所 品川 俊介

16：20～17：00 重金属類含有残土処分地からの浸出水水質の実態と予測法の提案

鉄道総合技術研究所 太田 岳洋

17：00～17：40 重金属基準不適合土壌の原因識別の重要性と対策例

地水環境コンサル 和田 信彦